

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2021年01月15日

事業所名:カルティボ キッズ

サービス種類:(児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動プログラムも行えるプレイルームと個別に勉強できる勉強ルームとに分けて、十分なスペースの確保をしている。	はい=19、どちらともいえない=1、いいえ=0、わからない=1 「二部屋、目的別に分かれている」 「とてもきれいです」 「大人数とはならないので小さい子でも安心」 「外遊びできるスペースがないので、近くの公園などを利用して発散させてもらっています」	現状の中で、それぞれの機能を生かした療育ができるよう、必要に応じて都度改善していく。
	2 職員の適切な配置	保育士、児童指導員、臨床心理士、音楽療法と資格と経験豊富な職員が配置され、言語聴覚士、理学療法士の配置も予定されている。	はい=14、どちらともいえない=1、いいえ=0、わからない=6 「みなさん、丁寧にみていただいています」 「活動中、先生が何人で見ているのかわからない」	言語聴覚士と作業療法士、理学療法士等専門家の確保に努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせたりして効果を上げている。	はい=20、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=1 「こまめに連絡帳でお話していただき、活動内容がよくわかる」 「絵で分かるように工夫されている」	引き続き、視覚優位の児童により分かりやすく、イラストと文字を用いてを使用していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は朝、昼、夕方に行っており、子どもの入れ替え時には使用した物を除菌するようにしている。スタッフ子ども達が外から室内に入ってきた時は、除菌手洗い、うがいをしっかりとるように指導している。ペーパータオルの使用、アルコール消毒の徹底、空気清浄機の導入を行っている。	はい=21、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0 「定期的な換気や、こまめな消毒をいただいているので安心です」 「今年(2020年)は特に配慮されていた。窓を開けても雨が入らないように工夫され、終了後も消毒されていて安心して通所できた。」	引き続き職員全員でチェックして、清掃する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼 昼礼 スタッフミーティングにおいてPDCAをチェックし意見を交換し取り入れている。		引き続き業務について、計画から見直しに至るまで手順を明確にし、PDCAを活用し業務改善に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は現在行っていない。		第三者評価を行う予定はない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修を定期的に行っている。また、外部研修にも職員が積極的に参加できる体制を取っている。		内外研修に積極的に参加し、資質の向上に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの担当を決め、しっかりとその日の様子を見て記録し、課題、評価を行っている。スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談してアセスメント表から計画書を作成している。	はい=19、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=2 「子供の特徴を捉え、必要なやり方をおしえていただけるので、家でも参考にになります」	今後も、引き続き取り組む。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	毎日個別プログラムとグループプログラムを行っている。 子ども達の発達状況を常に見極め記録し、個別と集団の活動とその記録をスタッフミーティングで検討し計画書の作成を行っている。		今後も引き続き取り組む。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画書の項目に、日常生活、コミュニケーション、運動、バランス、学習を主要項目として設定し分かり易く設定している。	はい=20、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=1 「子供の成長に合わせて変えてくれている。時間がかかることも根気よく付き合ってくれている。」	今後も、継続しながら、主要項目以外にも、保護者の要望、声を取り入れた項目を追加して、より支援の内容の充実した支援計画書の記載に努めるようアセスメント会議を充実させる。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書に沿った適切な支援が行われているか、児発管、指導員が常に意見を交換し、適切な支援の実施を行っている。	はい=20、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=1	引き続き、子ども達の成長を注意深く観察し、支援計画書の内容を随時スタッフ、保護者の方と相談説明を行い適切な支援の実施を行うよう心掛けている。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体で話し合い、活動プログラムの立案を行い、その周知を行っている。	はい=20、どちらともいえない=1、いいえ=0、わからない=0 「日によってプログラムをいろいろと考えられています。」 「本人が楽しめること、苦手なことが色々で経験ができる」 「いつも楽しいプログラムをありがとうございます」	スタッフからの意見やご利用される方の希望などを取り入れて個別対応やチーム全体でできる楽しく参加できる活動プログラムを立案していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校の放課後の対応として宿題、課題を行い休日には遠足、ワクワクプログラム、長期休暇にはそれぞれの季節に応じたプログラムを作成して対応している。		平日、休日、長期休暇に応じ、時間短縮、時間延長にも迅速に対応できるようにしていく。 コロナの状況に応じて臨機応変に対応していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	ミーティングを通して活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを常に提案できる体制を取っている。		活動プログラムの固定化、マンネリ化しないように情報収集を行い、スタッフ間の情報共有、保護者の方との意見交流を行っている。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の支援内容は開始前に、支援内容、役割分担の確認を正確に伝達できることを心がけ、変更がある時は的確にスタッフ間で伝達確認できるようにしている。		引き続き支援前ミーティングを行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼ミーティング時に、職員間での伝達は徹底し情報共有に努め、スタッフ連絡ノート、メール等で確認している。	支援の終了後、職員間で行われた支援の振り返り、記録を行い情報の共有化により導かれたものを個別支援、プログラムに生かすようにする。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳、業務日報の正確な記録と、支援内容の検証、改善は常に行いスタッフ間で情報伝達を共有している。	引き続き、正確な記録と、支援内容の検証、改善を日々の個別支援、プログラムに生かすようにする。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングは最低6か月に一回行っているが、支援の内容変更が確認された際には随時行ってモニタリング計画の見直しは行っている。	最低6か月に1回のモニタリング、個別支援計画を必要ならば随時行っていくようにしていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	コロナ対策として相談支援事業所のサービス担当者との電話会議により実施している。。	引き続きコロナの状況を見据えて電話会議、訪問等実施状況を検討していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて学校、事業者間で連携を計り、情報共有を行っている。	学校、幼稚園等や事業所で情報共有に努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	小学生までの放課後等デイサービスなので、現在は行っていない。必要な状況になれば情報共有を行っていきたい。	今後も、個人情報に配慮しながら、情報提供に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関と連携、研修の受講の促進は今後とも行っていく予定である。		引き続き、積極的に研修会等に参加する。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は交流の場の提供を行っていない。	はい=4、どちらともいえない=1、いいえ=3、わからない=13	ご利用者様のご意見により今後検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営は、計画にあがっており、事業所運営に生かしていきたい。		個人情報に注意しながら、これからも地域の方、保護者の方に喜んで頂けるような地域に開かれた事業の運営を目指していく。
保護者への説明責任・連携	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者に対して支援内容と利用者負担については見学会、モニタリング、重要事項説明時、契約書締結時に丁寧な説明とともにやっている。 ご利用者の実費負担については毎月の会報でご連絡している。	はい=21、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0 「わかりやすいです」 「よく話をしてくれます」	たくさんの保護者の方々から丁寧な説明を頂いていると評価いただき、一層ご期待に添えるようにしたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を心がけており、内容の変更があれば随時行っている。	はい=21、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0 「年齢、特性に合わせて考えてもらえるのがわかりました」	保護者の方に分かり易い支援内容の計画書作成と丁寧な説明を今後も継続していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの子育て悩みに対する相談へは個別に対応している。	はい=10、どちらともいえない=1、いいえ=1、わからない=9 「家族支援プログラムが分かりません」 「ペアトレはまだですが、所内での様子を詳しく教えてください助かります」。	コロナの状況を検討しながら、定期的な勉強会・交流会などを検討していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの発達の状況や課題は、日ごろから保護者との共通理解をもつため連絡帳、電話、メールを通して徹底している。	はい=18、どちらともいえない=2、いいえ=0、わからない=1 「毎回写真入りで、その日の内容や様子を知らせてくれます」 「口頭でのアドバイスや説明もしていただけるので、わかりやすい」	今後も保護者の方との連絡、報告など共通理解を得るため、徹底していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの子育ての悩みに対する相談へは適切に対応しており、必要な助言はスタッフと情報共有を行い、助言をしっかり行っている。	はい=17、どちらともいえない=1、いいえ=0、わからない=3 「送迎時や困っていれば個別で時間をとっていただき相談していただける」 「本人だけでなく兄弟の事も相談できて心強いです」	保護者からの子育ての悩みに対する相談は、細かな点からも気が付くように職員一同心がけている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在父母の会はございませんが、茶話会などは定期的に開催する計画をしている。	はい=10、どちらともいえない=3、いいえ=0、わからない=8 「他の親御さんの対応方法や困りごとなどを知る機会となりました」「なかなか保護者の方とお話する機会がありません」	保護者交流の場を作り、積極的に活動の支援を行います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に明記しており契約時には特に説明に力をいれている。	はい=13、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=8 「苦情はありません」	ご意見に対する細かな点を読み取り、問題解決に向かうように迅速かつ適切な対応を心がける。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時に情報を共有して意志の疎通を図るようにしている。並びに電話、メール体制のチェックを日々行うようにしている。	はい=21、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0 「メールや連絡帳、急ぎの場合は電話でと困ることはありません」「連絡帳で状況がよくわかります」	送迎時の時間を出来るだけとれるよう、担当スタッフの配置を検討していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の会報は用紙で行い。活動概要や行事予定、連絡体制等はメール、電話、訪問時での確に情報発信できるようにしている。またブログを用い、活動内容をよりイメージできるよう発信している。	はい=21、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0 「お知らせでわかります」「会報をくださるので、小学生になったらできる事など知らせてくれている」	会報、活動概要、行事予定がより分かり易く楽しめる内容にしていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護法の周知徹底を行い、日々の業務、仕事以外での個人情報の保護に職員間意識を徹底している。	はい=19、どちらともいえない=1、いいえ=0、わからない=1	個人情報保護法の対応を周知徹底し、保護者の方が安心できるような環境にしていく。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。保護者の方には契約時、モニタリング時、個別支援計画作成時に周知徹底している。	はい=19、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=2	職員一同ミーティング等で各種マニュアルの周知徹底を行っている。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害の発生に備えた、避難、救出の対応は個別支援計画に記入しており、必要な訓練の実施を行っている。	はい=16、どちらともいえない=1、いいえ=1、わからない=3 「プログラムに入っていました」「訓練しているのかわかりません」	引き続き非常事態で子どもがパニックにならないよう、定期的に避難訓練を計画する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止をするための研修機会は全体ミーティングでも議題にし、職員の研修機会を設けている。		引き続き、実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
母の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う予定はない。	身体拘束は行わない。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に食物アレルギーについて聞き取りをしており、職員に周知徹底している。	引き続き。おやつやクッキング時に食物アレルギー表を確認するよう徹底している。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例集は作成しており、月一度のスタッフミーティングにおいて検討課題としている。	職員全体で情報共有し検証及び対策を講じる姿勢を継続する。